

熊野町町会

当町会は戦後解散した後、昭和32年5月に熊野町町会として再発足して今日に至ります。昭和39年に東京オリンピックが決まり首都高速が熊野町まで延び、この辺りも急に都会のような地域になりました。大雨が降るといつも溢れていた谷端川と熊野町の町中にあったどぶ川が暗渠になり、町がすっきりした頃から山手通り沿いにマンションが建ち並びました。もともとの住民もこの町に来た住人も一緒に行事に参加して貰っています。世帯数は2,714世帯と大幅に増え、防災面での町会の役割も増えています。今はコロナで町会の行事が大幅に制限されていますが、祭りはここ2年は神輿を飾るだけですが、皆さんに忘れて貰いたくなく写真のようにコロナ前に戻るよう、感染対策をしながら食事券やお菓子などを配っています。今年は170人の親子が来て、子どもは太鼓をたたいて帰っていきました。

※令和4年2月28日に発行した「板橋区町会連合会 創立60周年記念誌」の紹介文を掲載しています



【町会の日】山梨リニア見学 H29.2



子供会 ドジョウつかみで大勢
最後はプールの水を放水